天文教育　Vol.23 No.5 通巻 112 号 2011 年 9 月 25 日発行（発行日：奇数月 25 日）

天文教育

2011 9

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy

＜連載＞　恒星天文学の源流/宇宙を観じる生活を！

天文学史教材としての天体観測儀器 3DCG 復元

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで 6～10 ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで 2～4 ページ程度。
4. **書　評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで 1 ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで 1 ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと 400 字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は 1～3 は原則として奇数月末日、4～7 は偶数月 15 日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局（jimu@tenkyo.net）までお申込みください。掲載料は B5 判 1 ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4 ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

※本誌に掲載された記事は、1 年後以降に当会ホームページ（http://tenkyo.net/）にて pdf ファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
・執筆用のテンプレートがホームページ（http://tenkyo.net/）からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いします（執筆上の留意点なども記しています）。
・充分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先　メールアドレス：**post@tenkyo.net**

表紙の言葉

木曽観測所の星空

撮影時：2011 年 9 月 6 日 21 時 22 分より 20 秒間の固定撮影
撮影地：長野県木曽郡木曽町　東京大学木曽観測所
機材：Canon EOS5DmkII, AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED (14mm, F=2.8)

秋の夜、月明かりで照らされた木曽のシュミット望遠鏡の上に、アンドロメダ銀河が小さく見える。この望遠鏡は口径が105cmと世界でも最大級のシュミット望遠鏡である。長野県の木曽の山の中、日本でも有数の空の暗さを誇る東京大学木曽観測所にある。シュミット望遠鏡は、他の大型望遠鏡に比べて一度に広範囲の視野の撮影が出来るので、この望遠鏡で撮影されたアンドロメダ銀河などの写真を、教科書で見た人も多いだろう。天文学の研究と共に「銀河学校」や「星の教室」などの教育活動が盛んである。

撮影と文：大西浩次（長野高等工業専門学校）